

住民投票のあるべき姿を問う講演会

9月12日(木) 午後 6:30~8:30

とりぎん文化会館
第1会議室

演題

住民投票の課題と展望

--- 一票の重さを考える ---

講師 武田真一郎氏

成蹊大学大学院教授

国民投票/住民投票情報室代表



武田先生は、成蹊大学大学院法学政治学研究科博士後期課程修了(法学博士取得)後、徳島大学助教授、愛知大学助教授を経て、2004年から現職です。市民の立場に立った行動派の行政法学者として、吉野川可動堰をめぐる住民運動に関わるなど、住民投票制度を本格的に検討しているほか、行政裁量、国家賠償責任といった問題にも取り組んでおられます。

住民投票の権威、鳥取市庁舎問題を語る！

私たちが勝利した住民投票結果に確信を
持つために、皆で集まろう！そして学ぼう！

鳥取市庁舎:整備問題 市長、一転「新築移転」

武田真一郎・成蹊大法科大学院教授の話 毎日新聞 2013年06月08日 大阪朝刊

市民の意見を聞き、実現することが市や議会の役割のはず。他都市の住民投票で投票結果が尊重されている結果が多い中、住民投票が公然と無視されたあしき前例になりかねない。

主催 市庁舎新築移転を問う市民の会

郵便番号 680-0035 鳥取市新町201 Tel. 0857-25-4558 Fax 0857-25-4559